

第92回

事前参加登録制

【開催地】
鹿児島大学
桜ヶ丘キャンパス

【参加登録】



10.01 水

10.19 日

医学教育 セミナー & ワークショップ

2025 秋

11.27 日

▽
11.28 日

Seminar (ハイブリッド)

11/27 木

16:30 ▶ 18:00

行動科学×臨床実践：6年間で育む行動科学的視点と実践力

網谷真理恵(鹿児島大学)

CD

Workshop (対面)

11.27 木

13:00 ▶ 16:00

11.28 金

09:00 ▶ 12:00

13:00 ▶ 16:00

WS- 1

授業や実習を“PIF”の観点から考えてみよう

大戸敬之(鹿児島大学病院)、岡崎史子(新潟大学)、三好智子(京都大学)、芳野 純(帝京平成大学)、船越 拓(東京ベイ・浦安市川医療センター)、吉田 暁(新潟市民病院)

11/27(木)13:00-16:00

TL

WS- 2

医療者教育に活かすAppreciative InquiryとOpen Space Technology

～主体性と対話で「あり方」を育む～

北原佑介(たのはたらボ)、照屋周造・尾原晴雄(沖縄県立中部病院)

11/27(木)13:00-16:00
11/28(金) 9:00-12:00

ML

WS- 3

ユニットの会 ～地域連携と全国協働を考える集い(九州地区開催)

小松弘幸(宮崎大学)、西城卓也・宮地由佳(MEDC)

11/28(金) 9:00-12:00

ML

WS- 4

映画と即興演劇で学ぶ医療者の行動科学：シネメデュケーション×インプロ(即興演劇)

古新 舜(北陸先端科学技術大学院大学)、師尾 郁、小島希美(シースリーフュージョン)

11/28(金) 9:00-12:00
13:00-16:00

TL

WS- 5

ロールプレイで学ぶ医療者教育のためのコーチング

横尾英孝・毛利翔悟(鹿児島大学)、吉澤悠喜(赤穂中央病院)、高橋美裕希(岐阜大学)、山口佳子(東京医科大学)、田原卓矢(昭和医科大学藤が丘病院)、利根川尚也(国立成育医療研究センター)

11/28(金)13:00-16:00

A

MEDTaaalk (オンライン)

11.27 木

13:00 ▶ 16:00

11.28 金

09:00 ▶ 12:00

MEDTaaalk 拡大版 11/27(木)13:00-14:50

シン・医療者教育スターターキットで医療者教育の基本を学ぼう！

西城卓也・早川佳穂・木原美波(MEDC)

CD

MEDTaaalk1 11/27(木)15:00-15:50

授業評価に対する医学生への認識と参加行動：文化的視点から

プレゼンター：鈴木沙季(日本大学) ナビゲーター：宮地由佳(MEDC)

A

MEDTaaalk2 11/28(金)9:00-9:50

生成AIの教育への応用の実践例 ～臨床実習におけるAIメンターの開発～

プレゼンター：海老原颯人・笠井 大(千葉大学) ナビゲーター：川上ちひろ(MEDC)

ML

MEDTaaalk3 11/28(金)10:00-10:50

臨床実習 x インストラクショナルデザイン = 自己調節学習+その先へ

プレゼンター：濱田千枝美(産業医科大学) ナビゲーター：野村 理(MEDC)

CD

MEDTaaalk4 11/28(金)11:00-11:50

医療者のアイデンティティ形成について考えてみよう

プレゼンター：長谷田紀子(広島大学) ナビゲーター：鈴木一吉(愛知学院大学)

TL

次回

【開催日】2026.06.05 ▶ 06.07 【開催地】東京

*記号 (TL 等) はアソシエイト認定のための学習領域を表しています。詳細は MEDC のホームページをご覧ください。



行動科学×臨床実践：6年間で育む行動科学的視点と実践力

網谷真理恵（鹿児島大学）

日本医学教育評価機構（JACME）による認証評価基準の導入により、行動科学・社会科学カリキュラムの実施が必須となっている。行動医学は「健康と疾病に関する心理社会科学的、行動科学および医学生物学的知見と技術を集積統合し、予防、診断、治療およびリハビリテーションに応用する学際的学術」と定義される。一方で、カリキュラム内容の標準化、指導者など大学間の差があり、多くの課題がある。鹿児島大学では、6年間を通じた段階的な理論と実践の統合により、行動科学的視点を持つ全人的医療実践者の育成を目指している。行動科学の理論学習に加え、行動変容のためのロールプレイ実習や、患者のBio-Psycho-Social modelに基づく臨床応用、地域住民との農業体験実習などのフィールドワークなど心理学、心身医学、地域医療学を融合した教育を実践している。本講演では鹿児島大学の行動科学教育の取り組みについて紹介する。

対象 行動科学に関心のある医学教育関係者

アソシエイトポイント：CD 0.125

WS-1（対面）

11月27日（木）13:00-16:00

授業や実習を“PIF”の観点から考えてみよう

大戸敬之（鹿児島大学病院）、岡崎史子（新潟大学）、三好智子（京都大学）、芳野 純（帝京平成大学）、船越 拓（東京ベイ・浦安市川医療センター）
吉田 暁（新潟市民病院）

プロフェッショナル・アイデンティティ（PI）とは、専門職としての価値観や信念、態度を備えた自己認識のことを指し、その形成過程をプロフェッショナル・アイデンティティ・フォーメーション（PIF）といいます。つまりは、「医療者らしくなっていく」ということです。学生や研修生がより医療者らしくなっていくということは、近年の医学教育の最終的な目標の一つとされています。PIFを促進することで、多様な価値観の理解や、主体的な学習、医療専門職として適応力が向上するなどの利点があります。しかし、このPIFの観点から授業や実習を設計された経験の無い方がほとんどだと思います。そこで本ワークショップでは、ご自身が関わる授業や実習を、PIFの観点から振り返ります。PIFの概念や影響因子を学び、グループでの議論を通じてPIFを考慮したカリキュラム設計を検討し、最終的にはご自身の医療者教育者としてのPIFにもつなげていきましょう。

対象 医療者教育に興味がある人、医療者教育に携わるすべての方、PIFに興味を持たれた方

定員 30名

アソシエイトポイント：TL 0.25

WS-2（対面）

11月27日（木）13:00-16:00・11月28日（金）9:00-12:00

医療者教育に活かすAppreciative InquiryとOpen Space Technology ～主体性と対話で「あり方」を育む～

北原佑介（たのはたらラボ）、照屋周造・尾原晴雄（沖縄県立中部病院）

態度・プロフェッショナリズム・リーダーシップなど、「あり方」の教育は、知識の伝達や指示的な指導では、なかなか本質的な変化を生みにくいテーマです。そこでは学習者自身の気づきや主体的な変化が必要とされます。このワークショップでは、強みや理想像を引き出すAppreciative Inquiryと、自分たちで問いを立てて探究するOpen Space Technologyという2つの課題解決手法を用いて、参加者のみなさん自身の教育課題や理想を題材に手法を体験していただきます。ご自身の現場にどう活かせるかを考えながら学びあえる時間を目指します。日々教育に向き合うみなさんにとって、対話がどんな気づきや行動のきっかけをもたらすのか、その可能性にぜひ触れてみてください。

医師、看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、薬剤師、臨床検査技師などの医療職のほか、大学や研修施設で教える立場にある方、教育を支援する立場の方も歓迎します。以下のような方に特におすすめです。「態度」「リーダーシップ」「あり方」といったテーマをどう教えるかに悩んでいる方、学習者の主体性を引き出す教育に関心がある方、対話的・探究的な学びの場づくりに興味がある方、Appreciative InquiryやOpen Space Technologyといった手法を、実践を通して学びたい方、自身の教育課題や理想を、他者と共に見つめ直し整理したいと感じている方。

対象 医療者教育や医療系学生の教育に携わっている方、またはこれから携わる予定のある方

定員 30名

アソシエイトポイント：ML 0.5

WS-3（対面）

11月28日（金）9:00-12:00

ユニットの会 ～地域連携と全国協働を考える集い（九州地区開催）

小松弘幸（宮崎大学）、西城卓也・宮地由佳（MEDC）

本ワークショップは、第57回日本医学教育学会大会in AKITA期間中に開催した「ユニットの会・ナイトセッション」で寄せられた「他大学ユニットとの協働・共創」への高い関心を受けて企画されました。九州地区を中心に、医学教育ネットワークの形成と実践的な連携の促進を目的とし、各大学の課題や教育実践のノウハウを共有します。共同研究、教材の共有、教員交流やFD合同開催など、具体的な協働の可能性を探ります。ラウンドテーブル形式での対話を通じて、次年度以降の継続的な取り組みにつながる関係づくりを目指します。今回は九州発の新たな試みですが、全国の医学教育関係者の参加も大歓迎します。大学や地域を越えた「つながり」が、ユニット同士の互助的な関係構築の一歩となることを願っています。

対象 医学教育／医療者教育の専従部署で働くスタッフの方、近隣大学との連携に関心のある方

定員 30名

アソシエイトポイント：ML 0.25

映画と即興演劇で学ぶ医療者の行動科学:シネメデュケーション×インプロ(即興演劇)

古新 舜(北陸先端科学技術大学院大学)、師尾 郁、小島希美(シースリーフュージョン)

本ワークショップは、映画を用いたシネメデュケーション(医学映画教育)と、演劇人や教育専門家らが協働するインプロ(即興演劇)を組み合わせた学びの場です。午前中は映画を通じて患者の全人性や医療従事者のプロフェッショナリズムを深く考察し、午後はインプロを用いてコミュニケーション力や共感力を実践的に育みます。不確実な医療現場でも柔軟に対応できる省察力を高め、多職種連携教育や卒後研修への応用を視野に入れながら、より質の高い医療サービスの提供を目指します。

対象 医師、看護師、薬剤師、歯科医師、リハビリテーション専門職をはじめとする医療・福祉従事者、ならびに医学・看護学・薬学などの医療系学部生や教職員、さらに多職種連携教育に関心をもつ事務職員や研究者等

定員 30名

アソシエイトポイント: TL 0.5

ロールプレイで学ぶ医療者教育のためのコーチング

横尾英孝・毛利翔悟(鹿児島大学)、吉澤悠喜(赤穂中央病院)、高橋美裕希(岐阜大学)、山口佳子(東京医科大学)、田原卓矢(昭和医科大学藤が丘病院)、利根川尚也(国立成育医療研究センター)

コーチングは学習者と教育者が目標を共有し、双方向の対話により学習者に新たな気づきや主体的な行動変容を促す対人支援技術です。学習者層の多様化が進む中、これからの高度で複雑な医療を担う優れた医療者を養成するための1つの方法としてコーチングが注目されています。本ワークショップはコーチングやその講習の経験が豊富な医療者教育のエキスパートによるファシリテートの下、参加者同士のロールプレイやディスカッションを通してコーチングを実践的なレベルまで修得することを目的としています。初学者の方のご参加も大歓迎です。

対象 医療者教育に興味のある教職員、医療専門職やそれを目指す学生

定員 30名

アソシエイトポイント: A 0.25

MEDTaalk 拡大版 11月27日 (木) 13:00-14:50

シン・医療者教育スターターキットで医療者教育の基本を学ぼう！

西城卓也・早川佳穂・木原美波(MEDC)

MEDCが提供するeラーニングプログラム「シン・医療者教育スターターキット」の全12本の短時間動画(各5～6分、計約60～70分)を、オンライン企画でまとめて視聴し、参加者全員で学習します。普段は隙間時間に少しずつ視聴する教材を、一気に体験できる貴重な機会です。視聴後には質問タイムも設け、動画のテーマをもとに、教育実践に関する疑問やご不安に、その場で丁寧にお答えします。新任教職員はもちろん、中堅教員の方の学び直しにも最適。参加者には修了証も発行され、教育の基礎を効率よく習得できる企画です。ぜひご参加ください！

シン・医療者教育スターターキット <https://www1.gifu-u.ac.jp/~medc/medicaleducation/starterkit.html>

アソシエイトポイント: CD 0.125

MEDTaalk 1 11月27日 (木) 15:00-15:50

授業評価に対する医学生の認識と参加行動:文化的視点から

プレゼンター:鈴木沙季(日本大学) ナビゲーター:宮地由佳(MEDC)

近年、教育改善や質保証の観点から、学生による授業評価の重要性が高まっています。しかし、評価内容や回収率などの信頼性をいかに担保するかについては明確な方法がなく、実施の難しさが指摘されています。授業評価の内容や回答率への影響因子として、性別、実施する学年、実施媒体(紙・オンライン)、学生の文化的価値観などが知られています。今回のMedTaalkでは、その中でも「文化的価値観」に焦点を当てます。日本人に特徴的とされる文化的価値観を紹介し、それが学習現場でどのように反映されるか、さらに授業評価に対する認識や参加行動にどのような影響を与えているかについて共有します。後半では、こうした文化的背景を踏まえて、授業評価をより効果的に実施するための工夫や改善策について、みなさんと一緒に考えたいと思います。

アソシエイトポイント: A 0.125

MEDTaaalk 2 11月28日(金) 9:00-9:50

生成AIの教育への応用の実践例 ～臨床実習におけるAIメンターの開発～

プレゼンター:海老原颯人・笠井 大(千葉大学) ナビゲーター:川上ちひろ(MEDC)

近年、生成AIの進化は目覚ましく、その活用は医療者教育の分野にも広がりつつある。本発表では、臨床実習中の医学生が直面する多様な課題(診療技術の習得、患者対応の不安、上級医との関係構築など)に対して、大規模言語モデルを活用したAI臨床実習メンター(AI-CCM)を開発・導入した教育実践を紹介する。AI-CCMは、医学教育モデル・コア・カリキュラムや自施設の臨床実習シラバスなどをもとに設計され、学生が安心して質問・相談できる対話型支援ツールとして構築された。実際に医学生が試用した結果、知識補完やコミュニケーション支援ツールとしての有用性が示され、教育的な適切性や安全性も評価された。本セッションでは、この取り組みの概要と成果を紹介し、生成AIが医療者教育にもたらす新たな価値と今後の可能性について総説的に解説する。

アソシエイトポイント: ML 0.125

MEDTaaalk 3 11月28日(金) 10:00-10:50

臨床実習 x インストラクショナルデザイン = 自己調節学習+その先へ

プレゼンター:濱田千枝美(産業医科大学) ナビゲーター:野村 理(MEDC)

現代の医療現場では、医師が生涯にわたり自律的かつ協働的に学び続ける能力を備えることが求められており、その基盤には自己調整学習(Self-Regulated Learning: SRL)と共調整学習(Co-Regulated Learning: CoRL)がある。なかでも臨床実習は、学習者がSRLを発揮し、他者と協働してCoRLを体験的に学ぶ好機であるが、これらを効果的に育成する教育的メカニズムは未解明であり、体系的に支援する教育設計は未だ確立されていない。そこでインストラクショナルデザインの手法を用いて、臨床実習を設計することで、医学生のSRLが促進され、どのようにCoRLに発展されるのか、話者の教育実践と研究知見を基盤に議論したい。

アソシエイトポイント: CD 0.125

MEDTaaalk 4 11月28日(金) 11:00-11:50

医療者のアイデンティティ形成について考えてみよう

プレゼンター:長谷由紀子(広島大学) ナビゲーター:鈴木一吉(愛知学院大学)

医療者教育の目的は、職業的アイデンティティをもつ医療者を育てることです。アイデンティティ形成とは、医療者としての価値観や信念、行動を自分のものとして取り入れ、そのように感じ、考え、行動できるようになる継続的なプロセスです。医療者教育に携わる皆さんは、特定の科目を担当していなくても、日常の指導や関わりの中で学習者に職業的アイデンティティに影響を与えているはずです。今回は企画者の専門である歯科衛生士の事例を交えながらアイデンティティ形成についてレクチャーを行い、その後に皆さんとディスカッションを行います。多職種で意見を交わすことで、共通点や各職種ならではの特徴が見えてくることを期待しています。歯科に限らず多様な医療職の皆さんのご参加をお待ちしています。

アソシエイトポイント: TL 0.125

参加登録方法

MEDCホームページよりお申込みください

MEDC



参加登録期間

2025年10月1日(水)～19日(日)

参加を希望される方は、上記期間内に参加登録をお願いします。各企画には定員を設けています。申込順にて受付いたしますので、ご了承ください。なお、当日参加は受付いたしません。

参加費

5,000円(学部学生、東海国立大学機構 教職員・大学院生は無料)

開催地

鹿児島大学 桜ヶ丘キャンパス
(〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号)